

日刊 勤労千葉

82-6-23
No. 1077

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五〜六（公衆）四三三（宅）二七二〇七

職場からの抵抗闘争を

6/19 津田沼支部で 職場集会ひらかる

検修職場・乗務員、それぞれが創意をこらし、反撃の才一歩ふみ出す

才二臨調才四部会報告が出され、国鉄労働者に対するさまざまな既得権剥奪の攻撃がかけられてきている。こうした攻撃に対し職場から反撃に立ち上る才一歩として、6月19日、津田沼支部で職場集会が開かれ、本部役員と現場組合員のヒゲをつき合わせた卒直で具体的な討論と闘いの方針を築き合う中から、「臨調」攻撃・既得権剥奪攻撃・国鉄労働運動解体攻撃に対して職場から反撃していく体制をうち固めた。

検修作業の問題点
あらう出し、闘いの武器に

検修
職場
集会

ありしも、この日は57年度以降の新規採用者のストツプをはじめ、貨物の大巾削減などを含んだ「57.11ダイヤ改」が提案されるという状況の中での職場集会でもあり、まず地上勤務者を対象として12時より始まった。

綾部副支部長の司会のもと、本部を代表して吉岡執行委員から、「今日、臨調や三里塚自民党国鉄再建小委員会によって国鉄労働者にかけられてきている攻撃、さらには、緊急11項目、なるものについて当局はドシドシ強行する方針をうち出し、一方的に既得権を奪いとりうとしている。その反面で当局にとって業務確保上都合のいいものだけは手をつけられないで、かつまり当局の弱点をとらえ、組合員全員の力を合わせた職場からの根強い抵抗闘争をつくりあげ、反撃していこう」とのあいさつを受け、検修作業における様々な具体的な問題点を話し合い、討論を深めていった。

「公休呼び出し」等の攻撃に、全員で闘う
乗務員 集会

乗務員
集会

13時からは、乗務員を中心とする集会を行なった。本部を代表して水野副委員長から、今日の情勢の特徴点と当面する具体的な諸問題について提起を受けた後

討論に入った。

組合員一人一人のこの攻撃に対するところから、非休公休の呼び出し問題、出入区における取扱い等々について、様々な意見が出され、こうした攻撃に対して反撃の体制を築きあげていくことを全体で確認した。

「三里塚・国鉄を基軸に闘おう」
6/24集会に参加、7/4三里塚 総結

総結
集会

今日、政府支配階級は、労働者人民の犠牲の上に、戦争体制づくりを全力をあげている。三里塚二期着工を強行し巨大軍事空港をつくり同時に人民の闘いの若・抵抗の拠点を暴力的に叩きつぶし一掃しておかなければ、自らの支配が危殆に陥るからである。だから今、三里塚二期着工に反対同盟解体攻撃が一挙に教化し、才二臨調をふりかざした国鉄労働運動解体攻撃がさまざまに教化しているのである。三里塚二期攻撃と国鉄労働運動解体の攻撃は、軍事大国化・憲法改悪へむけた一体の主軸的攻撃である。

勤労千葉の掲げる「三里塚を基軸に闘う労働運動」「80年代に通用する自前の労働運動」の基本路線を今こそ増々強め、三里塚国鉄を基軸に闘う広範な力を結集していく事が重要である。集会は、こうした立場から当面する行動として「闘う総評の再生をめざす6/24集会」（総評三顧問・岩井・太田・市川氏提唱）への参加と、反対同盟主催「二期着工阻止7/4三里塚集会」への総力結集を全体で確認し、成功裡に終了した。